

教育委員会定例会会議録

1 日 時

平成28年4月18日（月）

開会 14時00分

閉会 14時49分

2 場 所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席委員 前田光久委員長、森脇健夫委員、岩崎恭典委員、柏木康恵委員、
山口千代己教育長

欠席委員 なし

4 出席職員

教育長 山口千代己（再掲）

副教育長 木平芳定、次長（教職員担当） 浅井雅之、

次長（学校教育担当） 山口颯、次長（研修担当） 中田雅喜

教育総務課 課長 長崎敬之

教職員課 課長 小見山幸弘

高校教育課 課長 長谷川敦子、課長補佐兼班長 井ノ口誠充、
班長 萬井洋、主幹 杉阪英則

小中学校教育課 課長 花岡みどり、課長補佐兼班長 萬濃正通、
指導主事 小屋敷真毅、指導主事 村山文代、
指導主事 小泉 恵希

特別支援教育課 課長 森井博之、課長補佐兼班長 早津俊一、
指導主事 須川豊

生徒指導課 課長 芝崎俊也、子ども安全対策監 山口勉、班長 山田喜久

保健体育課 課長 野垣内靖、指導主事 増田和史

社会教育・文化財保護課 参事兼課長 辻善典、主査 藤原良幸、
主査 川井加奈子

文化振興課 課長 高野吉雄

総合博物館 副館長 松井一明

5 議案件名及び採択の結果

件 名	審議結果
議案第1号 三重県地方産業教育審議会委員の任命について	原案可決
議案第2号 平成28年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について	原案可決

議案第 3 号	三重県天然記念物日本鶏審査会審査員の任命について	原案可決
議案第 4 号	三重県総合博物館協議会委員の任命について	原案可決
議案第 5 号	職員の人事異動（市町立小中学校）について	原案可決

6 報告題件名

件 名

- 報告 1 平成 28 年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について
- 報告 2 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について
- 報告 3 平成 27 年度全国高等学校選抜大会等の結果について

7 審議の概要

・開会宣言

前田光久委員長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・前回審議事項（平成 28 年 3 月 23 日開催）の審議結果の確認

前回定例会審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・議事録署名人の指名

岩崎委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第 1 号から議案第 5 号は人事に関する案件であるため非公開で審議することを決定する。

会議の進行は、公開の報告 1 から報告 3 の報告を受けた後、非公開の議案第 1 号から議案第 5 号を審議する順番とすることを決定する。

・審議事項

報告 1 平成 28 年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について（公開）

（長谷川高校教育課長説明）

報告 1 平成 28 年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について

平成 28 年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について、別紙のとおり報告する。平成 28 年 4 月 18 日提出 三重県教育委員会事務局 高校教育課長、特別支援教育課長。

1 ページをお開きください。「1 前期選抜等」をご覧ください。前期選抜は 2 月

9日、10日に全日制課程49校116学科・コース、定時制課程5校12学科、通信制課程1校1学科で、学科・コースの特色に応じた検査により実施いたしました。実施校は全日制課程1校2学科・コースの減、定時制課程、通信制課程は昨年度と同じでした。全日制課程の志願者数は、昨年度より33人少ない9,110人でしたが、志願倍率は2.33倍で昨年度と同じでした。合格内定者数は4,224人です。定時制課程及び通信制課程については、ご覧のとおりでございます。

(2) 連携型中高一貫教育に係る選抜については、前年度同様、全日制課程2校2学科で実施し、30人が志願し、30人が合格内定となりました。

(3) 特別選抜は、高等学校を中途退学した者など、既に中学校を卒業した者を対象としています。全日制課程は1校で実施し、募集人数4人に対して1人の志願者があり、1人が合格内定となりました。定時制課程は5校12学科で実施し、募集人数48人に対して43人が志願し、28人が合格内定となりました。

次に、「2 後期選抜」です。3月10日に学力検査を実施し、3月17日に合格者発表を行いました。全日制課程では募集人数8,368人に対して9,709人の志願者があり、志願倍率は1.16倍でした。これは前年度と比較して0.02ポイント増加しました。定時制課程では、募集人数578人に対して志願者数217人、志願倍率は0.38倍でした。こちらも前年度と比較して0.01ポイント増加いたしました。通信制課程は募集人数428人に対して、志願者数24人、志願倍率は0.06倍、前年度と比較して0.03ポイント減少いたしました。

(2) 合格者の状況については、ご覧のとおりです。

なお、※印にあります秋期入学者選抜については、北星高等学校で9月に実施いたします。

次に、資料の2ページをご覧ください。再募集は前期選抜・後期選抜の合格者数が入学定員に満たない学校において実施されます。平成28年度選抜では全日制課程15校22学科・コース、定時制課程10校13学科、通信制課程2校2学科で実施されました。募集定員、志願者数、合格者数はご覧のとおりです。

追加募集は再募集においても入学定員に満たない夜間定時制課程の高等学校で行われます。夜間定時制課程10校11学科で実施いたしました。最後に、合格者総数は全日制課程が12,460人、定時制課程が422人、通信制課程54人でした。

以上で、平成28年度三重県立高等学校入学者選抜の概要についての報告を終わります。

続きまして、平成28年度三重県立特別支援学校入学者選考の概要については、報告者を特別支援教育課長に替えてご説明をいたします。

(森井特別支援教育課長説明)

引き続きまして、平成28年度三重県立特別支援学校入学者選考の概要について報告させていただきます。資料3ページをご覧ください。最初に、特別支援学校の入学者選考制度についてご説明させていただきます。県立高等学校では入学定員を設定し、受検者の中からある基準に従って合格者を選ぶという選抜を実施しております。

一方、県立特別支援学校の高等部では選抜ではなく、選考を実施しております。こ

の選考は、あらかじめ入学定員は定めず、事前に志願者、保護者、中学校担任等を対象に教育相談を実施し、志願者が当該の特別支援学校の対象であるか実態の把握を行います。そのうえで受検時に障がいに応じた配慮を行いながら、諸検査及び面接を実施し、入学者を決定していくというものでございます。

まず、2月10日に実施いたしました選考についてご報告いたします。県立高等学校の前期選抜に合わせて実施いたしました。特別支援学校14校の合計として、287人が受検し、全員を合格といたしました。その内訳は、特別支援学校中学部からの合格者が128人、中学校等からの合格者が159人でございます。各学校の状況は、資料に示させていただいております。

次に、3月10日に実施しました再募集による選考についてご説明をいたします。これは、当該学校で教育相談を受けた者のうち、2月10日の選考の一部又は全てを受けなかった者を対象に県立高等学校の後期選抜に合わせて実施いたしました。特別支援学校5校で7人が受検し、合格者が7人となっております。その内訳は特別支援学校中学部からの合格者が3人、中学校等からの合格者が4人となっております。

続いて、4ページをお願いいたします。高等部の合格者の総数は、選考と再募集による選考を合わせまして294人が合格となっており、その内訳は、特別支援学校中学部から131人、中学校等からの合格者が163人でございます。

以上が、平成28年度三重県立高等学校入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要についての報告でございます。よろしくをお願いいたします。

【質疑】

委員長

この件に関しての各委員からのご質問はよろしいですか。

森脇委員

細かい質問をいくつかさせてもらいたいと思います。1ページの後期選抜の通信制募集人数428人とあって、志願者数24とありますが、志願者数の割に募集人数が多いなと思ったんですが、素朴な感想ですが、これだけ募集人数を多くしておくのは一体なぜかということ質問させていただきたいと思います。

3つ言いますので、あと2つは、特別支援のほうですが、これは言葉ですが、受検者の検というのは、検査の検と書くのは何か理由があるのかということ1つ。

もう1つは、合格者総数が去年より、受検者も増えているんですが、こうした形で増えていくというのは、ある程度枠はないというふうに受検者の数だけ合格者を出すということになると、枠としての意味があまりないと思いますが、そのあたりはどういうふうに考えているのかお聞きしたいと思います。

高校教育課長

北星高校では入学定員が240名、松阪高校では入学定員が200名ということで、それぞれ通信制240名と200名で入学定員を設定しているんですが、ここへ至った経緯というのは申し訳ないですが承知しておりません。

教育長

通信制については、全日制や定時制でも行かれなかった子どもたちに後期中等教育

を保障するというので240とか200という数字を置いており、それだけあれば、意欲さえあればOKで、ずっとここ20年近く25年ぐらい置いていただいている。そのことによって教員定数はどうかということで、教員定数がそれで増えるということとはございません。財政当局もOKです。

森脇委員

わかりました。

教育長

検査の検は馬偏じゃないのは、やはり調べるという意味では受検の検を使っておるということです。

特別支援教育課長

2つ目です。この件に関しまして、今年度、確かに数字が増えております。特別支援学校では定員を設けておりません。この数字が比較的多くなっている理由としましては、この学年の中学部からの合格者が前年度よりも多くなっているというのが、一つ特徴となっております。この下の学年ですが、またいつもどおりの大体100名程度の数字になってくるんですけども、この学年に関しましては、人数的にイレギュラーの年であったかと判断させていただいているところです。

森脇委員

枠というのは予算措置とか関係していると思うんですが、大体後付けで決めていくみたいなことになるわけですか。後付けとは合格者数が枠であって、それに対して定員をつけていく。そういうことですか、わかりました。

岩崎委員

先ほどの説明の中で特別支援ですが、2月10日の選考に来られなかった人たちを中心に再募集で3月10日というお話だったんですが、この7人の子どもたちは、2月10日には来なかったということですか。

特別支援教育課長

インフルエンザ等で休んだ者が含まれております。

岩崎委員

そのときにいろいろ体調がすぐれなかったということですね。

特別支援教育課長

高校受検者もございます。内訳ですが、この学年では高校受検者は1名です。あと、体調不良、インフルエンザで休んでいるとなっております。

委員長

よろしいですか。

－全委員が本報告を了承する。－

・審議事項

報告2 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について (公開)

(芝崎生徒指導課長説明)

報告2 三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について

三重県いじめ問題対策連絡協議会委員の任免について、別紙のとおり報告する。平成28年4月18日提出 三重県教育委員会事務局 生徒指導課長。

説明は、山口子ども安全対策監から行います。

(山口子ども安全対策監説明)

1 ページをご覧ください。三重県いじめ問題対策連絡協議会は、いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図ることなどを目的として、条例により設置をしているのでございます。今回、2名の委員に人事異動がございまして、それに伴い委員の任免を行いましたので、ご報告をさせていただきます。表にございますように津地方法務局の人権擁護課長が葛課長から4月1日付で武田課長に、同じく子ども・家庭局次長が栗原次長から福井次長となりましたので、委員の任免を行ったものでございます。

3 ページの参考資料をご覧ください。一番上が国のいじめ防止対策推進法、中段が県のいじめ防止基本方針、一番下が本協議会の条例でございます。この条例のところを見ていただきますと、第3条のところでは委員は15人以内となっておりますが、左側2ページの一覧表をご覧くださいと、現在の委員は14人で構成をしております。また、第4条の第2項を見ていただきますと、委員の任期は1年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とするとなっております。したがって現在の委員の任期は、昨年7月1日から本年6月30日まででございますので、今回新たに任命した委員は、本年6月30日までの残任期間となります。

なお、本協議会、平成26年度、27年度、年度に2回ずつの会議を開催しております。年度によって開催の月が違いますが、いずれも7月から行っておりまして、昨年27年度は9月と2月に開催いたしました。本年度もこの6月の任期までに、この協議会の開催の予定をしておりますのでご報告させていただきます。

なお、次期の28年7月1日からの次期委員につきましては、その時点でまた改めてご報告をさせていただきたいと考えています。

【質疑】

委員長

人事案件、よろしいですね。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

報告3 平成27年度全国高等学校選抜大会等の結果について (公開)

(野垣内保健体育課長説明)

報告3 平成27年度全国高等学校選抜大会等の結果について

平成27年度全国高等学校選抜大会等の結果について、別紙のとおり報告する。平成28年4月18日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長。

1 ページをご覧ください。本年3月末までに行われた全国高等学校選抜大会等の結果を掲載しております。この中には、既に表彰しました平成27年度優秀選手表彰の

対象大会も含まれております。

まず、団体種目ですが、風間杯、第59回全国高等学校選抜レスリング大会において、いなべ総合学園高等学校が学校対抗の部で3位、第41回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会では、三重高等学校が男女の団体において、それぞれ5位となりました。1ページ下段には、個人種目の結果を載せております。第31回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会では、亀山高等学校の柳川友章さん、四日市工業高等学校の横山太偉雅さんら2名が優勝を果たしました。なお、柳川さんは、昨年度の全国高校総体で優勝、横山さんは2位に入っています。平成27年7月に行われた第17回全国高等学校女子ウェイトリフティング競技選手権大会では、亀山高校の石井未来さんが優勝をしております。石井さんは、平成26年度大会に続き二連覇です。

第34回全国高等学校弓道選抜大会では、尾鷲高等学校の奥野瞬さんが個人の部で優勝、第31回全国高等学校新体操選抜大会では、高田高等学校の堀孝輔さんが個人スティック、リング、ロープ、クラブ、総合で優勝されました。なお、堀さんは、昨年度の全国高校総体でも個人総合で優勝されています。個人種目のベスト8以上の入賞数は、延べ数で21種目でした。

【質疑】

委員長

ご意見よろしいですか。

参考のために教えてください。種目別みたいなものですね、このスティックとかリングとか。ほかにもあるんですか。

保健体育課長

これが全てです。ですので、全て優勝したということです。

委員長

すべてで優勝、完全優勝ですね。

教育長

内村航平君みたいなものです。床とか跳馬とか。

委員長

すごいですね。これってオリンピック種目あるんですか。

保健体育課長

男子の新体操はないです。

教育長

男子はないですが、女子はある。

委員長

残念ながら。まだ比較的歴史が浅いからですね。

あと、よろしいですか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

議案第1号 三重県地方産業教育審議会委員の任命について（非公開）

高校教育課長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第2号 平成28年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について（非公開）

小中学校教育課長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第3号 三重県天然記念物日本鶏審査会審査員の任命について（非公開）

参事兼社会教育・文化財保護課長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第4号 三重県総合博物館協議会委員の任命について（非公開）

参事兼社会教育・文化財保護課長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

・審議事項

議案第5号 職員の人事異動（市町立小中学校）について（非公開）

教職員課長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。